



外国人技能実習制度の“今”を伝える

iBridge

アイブリッジ通信



技能実習生
ぞくぞく
配属中



アイブリッジ協同組合では、結核対策として実習生が母国で行った胸部X線検査に加えて、そのX線画像を入国前に、公益財団法人結核予防会と連携し、再読影を行っています。

結核予防会は、国民の疾病予防と健康増進に寄与するとともに、結核研究所を中心に世界的課題である途上国の結核対策に国際的に貢献することを目的にしています。所管は、当組合の代表理事が局長を担っていた厚生労働省健康局です。

実習生の健康はもちろんのこと、施設の利用者様、職員様にも安心していただけるよう取り組んでいます。



技能実習の活かし方！



その前に！「特定技能」って「技能実習」のなかま！？

「技能実習」と「特定技能」ってなんだか似ていますね。
でも、かなり違うんです。

	技能実習	特定技能
期間	計5年間 1号(1年)・2号(2年)・3号(2年) 修了後特定技能に移行可能	計5年間 1号(5年) 介護では2号への移行不可
やること	就業して技能を学ぶ 決められた職種・作業に従事	日本人と同様 限られた分野だが通常の職員として勤務
退職・転職	3年間同じ職場で実習 実習期間中の転職は不可	日本人と同様 自由に退職・転職が可能
在留人数	28万人	5万人

つまり…

特定技能外国人を採用するということは、日本人職員を採用することと同じなのです。

同時に…

特定技能外国人は、日本人職員が好む(評価する)施設に集まる傾向があります。
それは、給料が高い、立地が良い(住みやすく休日も充実した場所から通える)など。

ということは…

日本人が集まる場所に、特定技能外国人も集まる。日本人が集まらない施設には、
特定技能も集まらない…という傾向にあります。



特定技能外国人と長く付き合うためには、
日本人同様、働く環境、相互理解、賃金などへの配慮が重要になります。

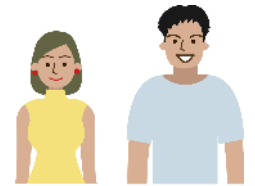


日本人が採用しやすい場所では、特定技能も採用しやすく、
日本人が採用しにくい場所では、特定技能の採用も難しい。
日本人が辞めやすい環境では、特定技能も辞めがち！

技能実習の活かし方！



技能実習の活かし方！の前に、
そもそも技能実習ってどんな制度でしたっけ？



01

技能実習生は、1号(1年)・2号(2年)の3年間、帰国することなく、また、退職することなく、介護(看護助手)の仕事に従事します。

02

技能実習生は、日本という国を選んで日本で仕事をするため、入国前講習をクリアしてきた意欲的な若者です。

03

技能実習生は、学校でも習わなかった日本語を勉強し、日本語検定N4に合格して来日します。勤勉な一面を持っています。



ここまでご紹介してきた技能実習生。
それでも、文化(習慣)の違い、日本語教育の課題はあります。



解決のための採用方法は？

採用初年度:3人程度の技能実習生の導入

- ・一人では寂しい実習生もいます
- ・法人で3人以上を採用することで、優良な実習実施者の認定に有利
⇒3号実習の実施が可能に

	3期生 3名	4期生 3名	5期生 3名
2期生 3名	2期生 3名	3期生 3名	4期生 3名
1期生 3名	1期生 3名	1期生 3名	2期生 3名
1年目 3名	2年目 6名	3年目 9名	4年目 9名
			5年目 9名

配属5か月目:2期生採用決定

その7か月後:2期生配属(1期生1年経過時)

※毎年3名ずつ採用した場合

つまり、3～5年間、毎年同時期に実習生を採用することで、技能実習生の先輩後輩の関係が繰り返されることになります。

いままで工夫が必要だった、日本との文化(習慣)の違いによる介護の説明の難しさ、生活指導の課題なども解決していきます。

日本語教育についても、試験対策や勉強の仕方も日本とミャンマーでは違いがあるため、1期生は戸惑いながら取り組んでいますが、これも先輩後輩の関係が解決してくれています。

Point!

卒業生が特定技能として残ることを目指すだけでなく、技能実習生を毎年一定人数採用し、実習や生活などあらゆるシーンで、高校の先輩後輩のように、経験を伝えていく体制をとることで、より安定した制度として活用できます。

／ 今月の実習生紹介 ／

AYE THET OO（エイ テッ ウー）さん（ミャンマー出身） 株式会社愛誠会 はなまるハウス弥生台（介護付有料老人ホーム）

2021年1月に入国し、3月に「はなまるハウス弥生台」に入社しました。言葉や文化が違うところで、色々おぼえることがあり、はじめはとても大変でした。たとえば、利用者さんの顔と名前を覚えることや、声をかけるときに苗字を呼べばいいか名前を呼べば良いか、などもわかりませんでした。

仕事は、家族の世話をしていると思っているので、毎日が楽しいです。利用者さんたちと一緒に歌を歌ったり、おやつを作ったりして、利用者さんたちに喜んでもらえるのが、とても楽しいです。

職場の先輩たちやリーダーは、みんな親切で、なんでも細かくしっかり教えてくれます。忘れられないことは、コミュニケーションについてです。挨拶のしかたやコミュニケーションのとりかたなどについて覚えしました。また、介護用語や敬語なども覚えしました。



休みの日は、ショッピングモールへ行ったりしています。コロナに気を付けながら行っています。日本で行きたいところはたくさんありますが、コロナの時期なのでどこへもいけないのが少し残念です。コロナが落ち着いたたら、広島と富士山に行って写真を撮りたいと思います。

3年後は、グループホームのようなところで働きたいと思っています。なぜかという、グループホームのような利用者が少人数だけいるところで、どんな仕事をするかを学びたいからです。

日本の食べ物では、大根以外は全部好きです。一番好きな食べ物は刺身です。仕事で疲れたときは、歌を聴いたり、料理を作ったりしてリラックスしています。

誕生日に、施設からケーキを頂きました。人生ではじめて頂いたケーキなので、一生忘れません。



アイブリッジ協同組合

所在地： 〒103-0027

東京都中央区日本橋3-13-5 KDX日本橋313ビル9F

T E L： 03-6228-4196 FAX:03-6228-4896

U R L： <https://www.ibridge.or.jp> mail: info@ibridge.or.jp

組合ホームページ



2022年8月29日発行